



防災・減災に女性の視点を生かす ～大人気！楽しく学べる防災セミナー～



兵庫県小野市 おの女性防災グループ
グローバル代表 堀井 ひさ代

1 はじめに

おの女性防災グループ「クローバー」は、平成27年度・28年度小野市主催の「おのウィメンズチャレンジ塾」で「防災・減災・復興に女性の視点を生かす」をテーマに学んだ仲間と結成。その後メンバーの入れ替わりがあり現在は30代～70代の女性12名で活動しています。女性の視点で防災を切り口に、大人から子どもまで、ゲームやワークショップを通じて、楽しく学べる活動をしています。そして地域に関心を持ち、意見の言える女性の仲間を増やすことを目指しています。

2 事業背景

私たちの住んでいる小野市は、阪神淡路大震災でも大きな被害はなく、過去にも大きな自然災害に見舞われることが少なかった地域ですが、1級河川の加古川や東条川、万願寺川が流れ、ため池が多数あり、最近の異常気象による水害が予想されます。また、山崎断層東南部地震では最大震度7、南海トラフ巨大地震では最大震度6弱が予想されている所があります。

しかし、災害に対する危機意識は低いように思います。また、防災イコール男性という意識が強く、各地区の「自主防災組織」も男性主体で運営されています。加えて防災訓練は男性が参加するものという意識が女性にもあると思われます。東日本大

震災後、仙台におもむき、女性リーダー養成をされている団体から「避難所では子どもや、女性・高齢者・障がい者等の社会的弱者が様々な被害を受けている。避難所運営に女性が関わっていれば防げることができた。」と話を聞き、小野市でも女性の参画を推進していくことが必要と実感しました。

3 事業の内容

【防災三択クイズ・〇×クイズ】

地域の運動会やイベント・セミナーなど人の集まる場所で、防災の基礎知識・その地域にあった災害（水害・地震・土砂災害等）をクイズにしています。併せて、法改正やタイムリーな話題も取り入れています。



「〇×クイズ」

【牛乳パックで作る防災お菓子バッグ】

子ども達対象に、牛乳パックに自分の好きなお菓子を貼りつけた「お菓子バッグ」作りのワークショップをしています。牛乳パックの中には自分の好きなおもちゃや大切な物を入れることができます。「情

報カード」に保護者の名前・連絡先・血液型・アレルギー等の情報を記入し保護者の意思に任せて貼りつけています。完成後は、自分の命は自分で守ることの大切さを伝えています。また、防災について家族で話し合うきっかけにもなっています。



楽しく「お菓子バック」作り

【クロスロードゲーム】

カードゲームで、災害時で起こりうる設問に対して、各自がYesかNoで自分の意思を示すゲームです。ブースに分かれて、参加者全員に意見を発表してもらいます。自分の経験や思いを話したり、他人の防災対策に耳を傾け質問したり活発な意見交換ができ、コミュニケーションづくりに役立っています。



地域で「クロスロードゲーム」

【その他の活動】

避難のタイミング・非常食・体力づくり・近所付き合いの大切さ等を題材とし

た防災啓発の寸劇。セミナー会場に100円ショップで揃えられる防災グッズを展示。外国人技能実習生に「マイタイムラインづくり」のセミナー実施。



防災啓発のオリジナル寸劇！



外国人技能実習生と「マイタイムライン」作り

4 取組みの成果と今後

講座では参加者が主体的に意見を出せるよう取り組んでいるため、性別や年齢にとらわれることなく、ご近所や参加者の方々と防災について気軽に意見を出し合える空気が生まれています。これからも、楽しく解りやすいセミナーを目指します。女性には地域の防災に参画することが自分や自分の大切な人、地域を守ることになる。子どもたちには「自分の命は自分で守る」大切さを伝えていきたいと思ひます。